

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和4年10月27日（木）

2 確認箇所

Eタンクエリア

3 確認項目

Eタンクエリアのフランジ型タンクの残水移送作業の状況

4 確認結果の概要

Eタンクエリアのフランジ型タンク解体作業において、一部のタンク（D1・D2タンク）に底部残水（RO濃縮水）の α 核種濃度が高いことが確認されたため、漏えいのリスクを低減するために、タンク内の残水やスラッジの移送作業が進められていることから、その状況を確認した。（図1）（前回確認：令和4年7月6日）

なお、D2タンクについては、残水移送作業が終了している。

また、当該エリアでは、今回確認したD1・D2タンク等3基を除く46基のフランジ型タンクの解体が完了している。

- ・発電機の位置がD2タンクの北側から東側に、また、靴交換用小屋が前回確認時にあった場所から南側に位置が変更されていた。（写真1）
- ・D1タンク及びD2タンクの周囲には鋼製の堰が設置されていた。（写真2）
- ・前回確認時（令和4年7月6日）、D2タンク下部側面から撤去されていた側マンホール部のハウスが、今回の確認時には再度設置されていた。（写真3）
- ・D2タンクに仮設足場が設置されていた。（写真4）



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
D1、D2タンクの概観（北東側から令和4年7月6日撮影）



(写真1-2)
D1、D2タンクの概観（北東側から令和4年10月27日撮影）



(写真1-3)
靴交換用小屋の状況（北東側から令和4年7月6日撮影）



(写真1-4)
靴交換用小屋の状況（北東側から令和4年10月27日撮影）



(写真2)
鋼製の堰の状況

※Rαハウス：Rαハウス内に金属性のフィルタユニットを設置し、スラッジ回収を行う。フィルタユニット取外しは、ドレン弁にて水切り後、2重養生、汚染確認を行い、ハウス外へ搬出後6m³コンテナへ収納する。
Rαハウス内の局所排風機にてダストを吸引し、連続ダストモニタでハウス内のダスト濃度を測定する。局所排風機出口は、タンク天板上設置機と同様の2重HEPAフィルタ構造となっている。



(写真3-1)
D2タンクの側マンホール部のハウスの状況①



(写真3-2)
D2タンクの側マンホール部のハウスの状況②



(写真4)
D2タンクの仮設足場設置状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。